

平成 27 年度 学校経営計画表

1 学校の現況

| | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | | |
|------|-------|-----|------------|----|---------|----|----|----|----------|---------|----------|----|-----------|------|-----------|------------|----------|-----|-----------|---|---|----|
| 学校番号 | 中等 2 | 学校名 | 県立古河中等教育学校 | | | | | 課程 | | | | | | 学校長名 | 杉田 幸雄 | | | | | | | |
| 教頭名 | 藤田 忠弘 | | 柳橋 常喜 | | | | | | | 事務(室)長名 | 山中 加津代 | | | | | | | | | | | |
| 教職員数 | 校長 | 1 | 教頭 | 2 | 事務 長 | 1 | 教諭 | 19 | 養護 教諭 | 1 | 常勤 講師 | | 非常勤 講師 | 6 | 実習助手 等 | | 事務 職員 | 2 | 技術 職員等 | 5 | 計 | 37 |
| 生徒数 | 学科 | 1年 | | 2年 | | 3年 | | 4年 | | 5年 | | 6年 | | 合計 | | 合計 クラス数 | | | | | | |
| | | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | 男 | 女 | | | | | |
| | | 60 | 60 | 60 | 60 | 60 | 59 | | | | | | | | | | | 180 | 179 | | | 9 |

2 目指す学校像

- 6年間の継続的・計画的な教育活動を通じて、一人一人に高い志を持たせ、その実現に向けて知性と人間性を育む。
 ○科学教育や国際教育を推進し、体験的・探究的な学習活動の展開により、国内外で活躍するための科学的思考力や表現力を培う。
 ○異年齢交流を重視した学校行事や部活動、ボランティア活動などを通じて、社会に貢献するリーダーとしての資質を磨く。

3 現状分析と課題（数量的な分析を含む。）

| 項目 | 現状分析 | 課題 |
|------|--|--|
| 学習指導 | ○6年間の学習指導計画概要を基に、前期課程の年間計画及びシラバスを作成し、生徒の自主的・主体的な学習態度の育成を目指し取り組んでいる。 | ○生徒の自主的・主体的な学習態度の育成 ○6年間を見通した体系的なシラバス作成と学習システムの構築 |
| 生徒指導 | ○基本的な生活習慣の育成や望ましい人間関係の確立を目指し、積極的な生徒指導を実践している。 | ○積極的な生徒指導の望ましい在り方 ○教育相談体制の確立 |
| 進路指導 | ○6年間のキャリア教育計画概要を基に、生徒の発達段階に応じた進路指導を実践している。 | ○6年間を見通した体系的なキャリア教育の実践 |
| 特別活動 | ○学級活動(LHR)の時間を中心とし、生徒がより良い学校生活を送るための指導を実践している。 ○学校行事の具体化並びに生徒会活動における委員会と部活動の設置と望ましい運営に向けて取り組んでいる。 | ○6年間を見通した自主的・自治的な活動を推進するための特別活動の在り方と実践 |

4 中期的目標

- Σソフィア・プロジェクトと各種教育活動とを連携させ、体験的・探究的な学習活動を展開し、科学的思考力や判断力、表現力を培うことができる。
 ○6年間の体系的なシラバス作成と学習システムを構築し、生徒一人一人が将来の夢や目標に向かって、自主的・主体的に学習に取り組むことができる。
 ○学校行事や部活動、ボランティア活動などを通じて異年齢交流を行い、社会に貢献するリーダーとしての資質を育成することができる。

別紙様式 1 (中等)

5 本年度の重点目標

| 重点項目 | 重点目標 |
|-------------------|--|
| Σソフィア・プロジェクトの推進 | ○学校行事や年次行事，各授業と連携し，Σアクション(リーダー資質の育成)，Σリサーチ(探究学習)，Σサイエンス(科学教育)，Σコミュニケーション(国際教育)，Σアカデミア(学力育成)を計画的に実施する。 |
| 開かれた学校づくりと広報活動の充実 | ○本校の特色ある教育活動及び教育活動全般について，ホームページや各種たより等で保護者等に順次発信する。 ○学校説明会や学校公開等を計画的に実施する。 |
| 高い学力の育成と探究的な学習の確立 | ○少人数指導やチーム・ティーチング等，授業形態を工夫して，生徒が自主的・主体的に取り組む学習指導，思考力・判断力・表現力の育成を重視した学習指導を展開する。 |
| 生徒指導と教育相談体制の充実 | ○基本的な生活習慣を定着させるとともに，多くの体験活動を通して豊かな心の育成を図る。 ○スクールカウンセラーや担任等との面談や相談を計画的に実施し，生徒全員が安心して学校生活を送れるよう，教育相談体制の充実を図る。 ○学校環境衛生及び学校安全管理の維持向上を図る。 |
| キャリア教育の推進 | ○体験活動や探究活動の系統化を図り，将来を見据えたキャリアプランニング能力の育成を図る。 ○課題発見能力や自己管理の姿勢を養い，生徒一人一人の目標実現に向けたキャリア教育を行う。 |